

(5)心にゆとりを感じるまちづくり

新規 ゴミ減量化・資源化促進事業

22,883千円

(担当:リサイクルセンター)

一般家庭から排出されるごみの減量化を図るため、ごみ処理手数料を導入し、燃やすごみの減量化に努めます。具体的には、燃やすごみの減量化として、生ごみの堆肥化を進めるため、生ごみ処理容器の普及・促進を行います。資源化では、剪定枝をチップ化し、腐葉土にする事業を支援します。また、市民への情報提供のため、ごみ減量等講習会を開催します。さらに、回収システムを充実するため、公共施設を利用しての拠点回収の開始、また、廃棄物処理の適正化を図るための計画の策定にも取り組みます。(一部緊急雇用対策基金事業を活用しています。)

新規 アゼリアホール改修事業

14,200千円

(担当:生涯学習課)

大竹会館講堂(アゼリアホール)の正面階段に手すりを設置し、多目的トイレに改修するなど、バリアフリー化・ユニバーサルデザイン化を図ります。

新規 小方学園プール開放事業

2,921千円

(担当:生涯学習課)

新しく整備された小方学園の屋内プールを広く市民に開放し、市民の健康増進と水泳振興を図ります。

環境美化推進事業

3,000千円

(担当:環境整備課)

きれいで快適なまちづくりを推進するため、地域に密着した環境美化活動に取り組んでいる「公衆衛生推進協議会」の活動を引き続き支援します。ごみステーションの維持・管理をはじめ啓発看板の配付や花いっぱい運動などの事業への取り組みを支援します。

地域不法投棄対策事業

8,182千円

(担当:リサイクルセンター)

地域の快適な生活環境を守るため、地域住民や警察と連携し不法投棄防止の活動に向けての取り組みを行います。不法投棄防止にむけた広報啓発活動や監視パトロール、不法投棄廃棄物処理などに加え、今後も、市内に監視カメラを増設し、不法投棄防止に向けた取り組みを強化します。また、公衆衛生推進協議会の不法投棄防止に向けた活動を引き続き支援します。

市民文化講演会

1,950千円

(担当:生涯学習課)

現代社会における課題や大竹市が抱える課題の解決のヒントになるような講師を招き、今後のまちづくり・ひとづくりに繋がる講演会を行います。